

言葉磨き（教師の発問、共感、児童生徒のつなぎ発言等）は、児童生徒の思考を深めることに有効であったか。

○成果

- ・自分たちの発表が伝わって、シャーロット先生が喜んでくれたり驚いたり反応してくれることで、より伝えようと努力する姿が見られた。また、さりげないフォローでより思考を深めることができていた。
- ・シャーロット先生が共感、つなぐ発言をされていて良かった。
- ・教師のアドバイスや手助けが効果的だった。

●課題

- ・コミュニケーションなので、原稿なしで紹介できると良い。
- ・他の班が発表している間、振り返りや評価をしている生徒が多かった。
- ・受け答えの仕方の練習や、モデルを見て学ぶ等の事前学習があれば良かった。
- ・S評価の提示がもう一度あればよかった。

改善のポイント

- ・コミュニケーション＋発表なので、声を大きく楽しむようにする。
- ・振り返りは終わってからまとめて行う。
- ・やり取りとしての表情、つなぎ発言等のコミュニケーション力を上げる素材が必要。

I C Tの活用は児童生徒の思考や理解を深めることに有効であったか。また、児童生徒の主体的に学ぼうとする意欲を高めたか。

○成果

- ・タブレットで発表資料を作成し、スカイプで世界とつながる、まさに最先端のI C T授業で、生徒の主体的に学ぼうとする意欲が高まっていた。
- ・離れた場所とのコミュニケーションの可能性を感じることができた。
- ・学びやI C Tの活用に必然性があった。

●課題

- ・質問や受け答えが分からない時はタブレットを使って単語などを調べる。
- ・相手に伝えるための効果的なプレゼンの方法を練習する。

改善のポイント

- ・効果的なI C Tの使い方を考える。